



## 待っていてくれる人達がいるから続けられる

プルタブやアルミ缶を集めて施設や病院に車いすを贈っている女性団体がいます。その名は「カンカン娘」。

熊野地区に住む女性でつくる「カンカン娘」は、アルミの空き缶やプルタブを回収して得たお金で病院や老人ホームなどに車いすを贈っている団体です。メンバーは代表の山本洋子さんと坂本トシ子さん、稲垣順子さんと中村よしのさん、春木浩美さんの5人です。

カンカン娘の名前の由来は、缶がカンカンと鳴る音、施設や病院にいるお年寄りから見れば、娘のような存在であることから命名されました。

PTAが企画したことから始まった

2003年に熊野小学校が閉校になり、何か記念として形あるものを残したいという思いから当時のPTAが缶のプルタブを集めて、車いすを贈ろうと企画したことが始まりでした。

ところが、いざ始めてみると、思うように集まらなかつたので

必要としている人がいる限り続けよう

学校閉校後も活動を続けることになった娘達は、少しでも早く車いすが届けられるように必死で空き缶回収や分別作業をしていきました。ごみの収集場で空き缶を集める姿に、住民から浴びせられる冷たい言葉や視線に、何度も「やめよう」と話し合いました。それでも空き缶集めをやめませんでした。「待っていてくれる人達がいる。人にどう思われてもいい。自分達にできることをしよう」みんなの心は一つになりました。

「いいよ。手伝わせてもらうね」と返事をしました。

PTAに婦人会が加わり、多少は集まるようになったものの、やはりプルタブでは限界がありました。そこで、プルタブと同じ素材のアルミ缶も集めることにしたのです。ここから作業効率は大幅にアップしました。そしてなんとか閉校に間に合わせる事ができました。

夏場の作業は異臭を放つ

集められた空き缶からスチールとアルミを分別して洗浄します。お金になるのはアルミ製品で綺麗なものだけだからです。スチール缶もプルタブはアルミ製なので回収します。集めたごみ袋の中には、生ごみやたばこの吸い殻、



で張るさ  
引洋さん  
を山本  
代表の



をみなを  
系癒し系  
トシ子さん



返しと思いが  
飲んでも  
に感謝  
中村よしのさん



にひっばら  
てついでに  
ほす



みんなも  
て感謝し  
春木浩美さん

娘達が集まる日は決めていま  
せん。みんな仕事をしています  
事もしなければならぬので作  
業はできる時にしています。そ  
れでも家族には迷惑をかけてい  
ます。「家族の協力があってでき  
ているんです」みんな口をそろ  
えてこう話します。熱中するあ  
まり夜中の2時、3時まで作業  
していたこともあったそうです。



瓶、ポ  
ット、ベ  
ット、ガ  
スなど

プラスチックなど分別されてい  
ないさまざまなものが含まれて  
います。それらをすべて分別し  
自分達が購入したごみシールを  
貼ってごみを出しています。夏  
場ともなれば、虫がわき異臭を  
放ちます。それらを一つひとつ  
洗って綺麗にしていきます。

集まった缶は春木さんのご主  
人がトラックで運んでくれます。  
最初は軽トラックで運んでいま  
したが、今では2t車で取引先  
まで何往復もしています。そん  
な両親をみていた高校3年と中  
学2年の息子2人も父親の運搬  
作業を手伝うようになりました。  
最近では、娘達の活動を応援  
してくれる人達も現れてきまし  
た。活動の拠点となっている熊  
野地区では、冷めた目で見る人  
はいません。区全体が協力して  
います。わざわざ分別して持つ  
てきてくれる人や「家において  
あるから取りにきて」と連絡  
をくれる人もいます。集めた缶

みんなが協力してくれている

夏場の朝は5時前から作業して  
いた時もありましたが、缶の力  
ンカン鳴る音が近所迷惑にな  
ると感じて6時以降に作業するよ  
うになりました。

か。「待つとる人達から、『来て  
くれてありがとう』って言われ  
たらやっぱり嬉しいね。10年を  
区切りと思つてこれまで頑張つて  
きたけど、次の予約があるから  
10年じゃやめられんかもね」と山本  
さんは笑顔で話してくれました。

熊野小学校閉校記念行事とし  
て空き缶集めが始つてから8年  
が経ち、娘達の体力も限界を迎  
えつつあります。彼女達を動か  
しているものは何なのでしょう  
か。

は山本さんの家の向いにある旧  
農協倉庫の一角に置かれていま  
す。農協も娘達の活動を聞き、  
協力してくれています。

「メンバーの家族が施設で世  
話になったので、その恩返し  
の一心で続けています。また、車  
いすを贈るときに『本当に届け  
にきてくれたんやねえ』と涙を  
流して感謝するお年寄りを見た  
ときにやつてよかったという達  
成感とともに嬉しくなります」  
と山本さんは話します。そして  
次の車いすを贈るために今日も  
みんなで作業しています。

ここまで続けてこれた理由(わけ)

ボランティアでないという意味がない  
カシカン娘はボランティアで  
活動することにこだわっていま  
す。それには理由があります。  
非営利であるため、アルミを  
売って得たお金に税金はかかり  
ません。さらに、車いすを購入  
する際も安く買うことができる  
からです。



ふちと  
のく  
ボ  
ット  
は80  
た1  
本に  
を知  
り、  
集  
めた



は見た  
目も  
綺麗  
源



は売  
潰して  
着で  
り物



作業し  
るため  
み袋は  
足らな  
い